

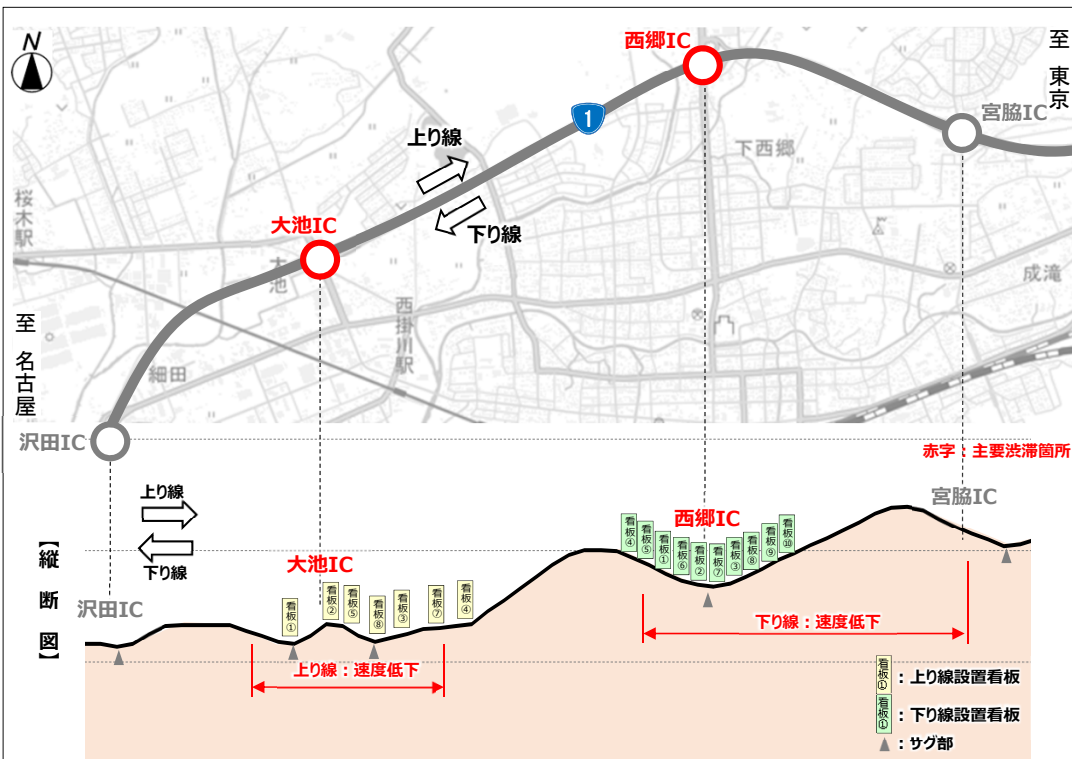
実施した対策の効果・影響の検討

1. 国道1号掛川バイパス（実施主体：国交省）

1-1 国道1号掛川バイパス SL看板による速度低下対策：上り線大池IC付近、下り線西郷IC付近

- 国道1号掛川バイパスでは、朝ピーク時においてサグ部による速度低下が発生しており、旅行速度の向上を目的に平成28年度よりSL看板を設置。
- 上り線では、最も速度が低下している7時台において横ばいであるが、8時台では旅行速度が向上。
- 下り線では、令和元年度の対策後、7時台・8時台ともに旅行速度が向上。
- 現在も対策は継続しており、対策実施後の速度改善状況から大きな変化は生じていない。

■ 対策概要



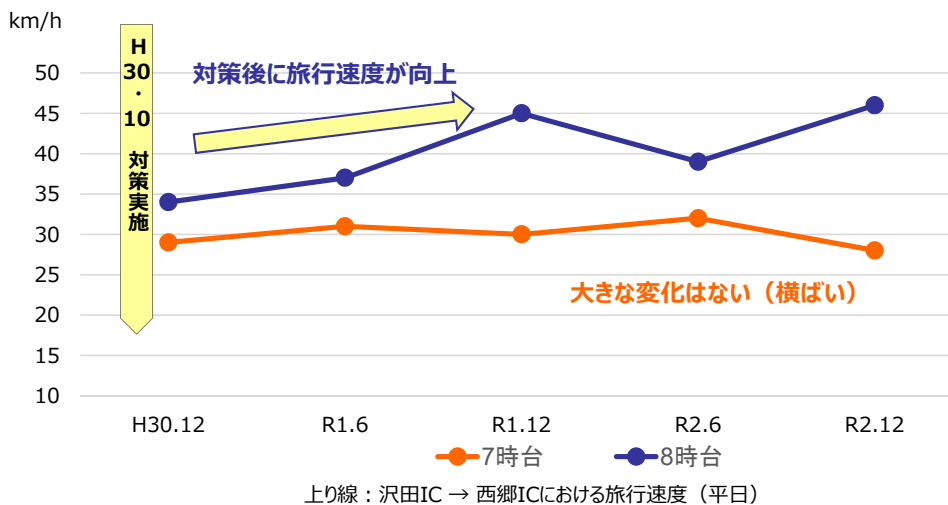
	上り線の対策経緯	下り線の対策経緯
H28年度	SL看板設置 (①～③)	SL看板設置 (①～③)
H29年度	SL看板追加設置 (④)	経過観察
H30年度	SL看板追加設置 (⑤～⑦) SL看板表記変更 (③、④)	経過観察
R1年度	経過観察	SL看板追加設置 (④～⑩) SL看板表記変更 (①、②)
R2年度	経過観察	経過観察
R3年度	経過観察	経過観察



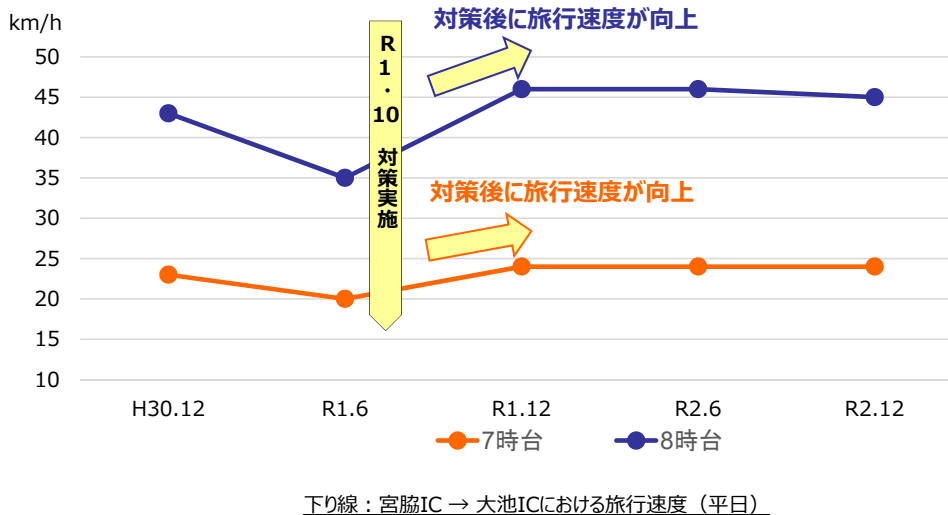
SL看板設置状況

■ 効果（近年の旅行速度の変化）

<上り線 SL看板設置効果>



<下り線 SL看板設置効果>



2. 県道磐田掛川線（実施主体：静岡県） <令和元年6月18日完了>

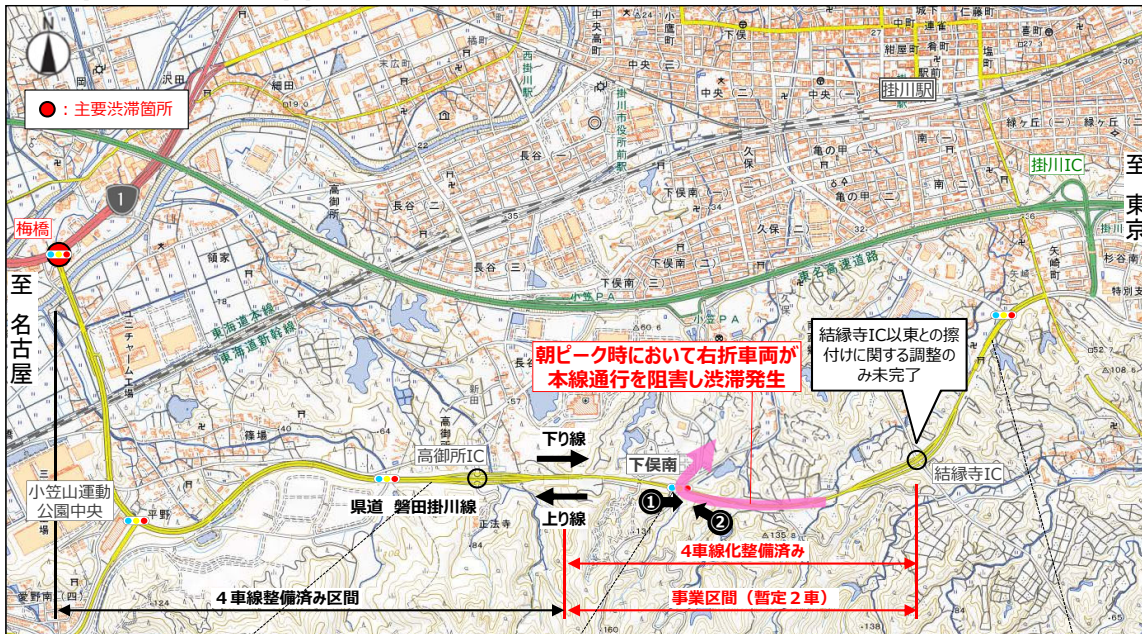
2-1 県道磐田掛川線 4車線拡幅

- 県道磐田掛川線の「下俣南」交差点では、西進交通の右折車両が本線通行を阻害し、朝ピーク時において渋滞が発生。
- 平成28年度より4車線化整備を開始し、工事は概ね完了。（結縁寺IC以东との擦付けに関する調整等のみ未完了）
- 課題であった「下俣南」交差点の整備は完了し、朝の渋滞は解消。（信号待ち 2回→0回）

■ 位置図



■ 対策内容及び渋滞状況



■ 整備前の渋滞状況



■ 事業概要

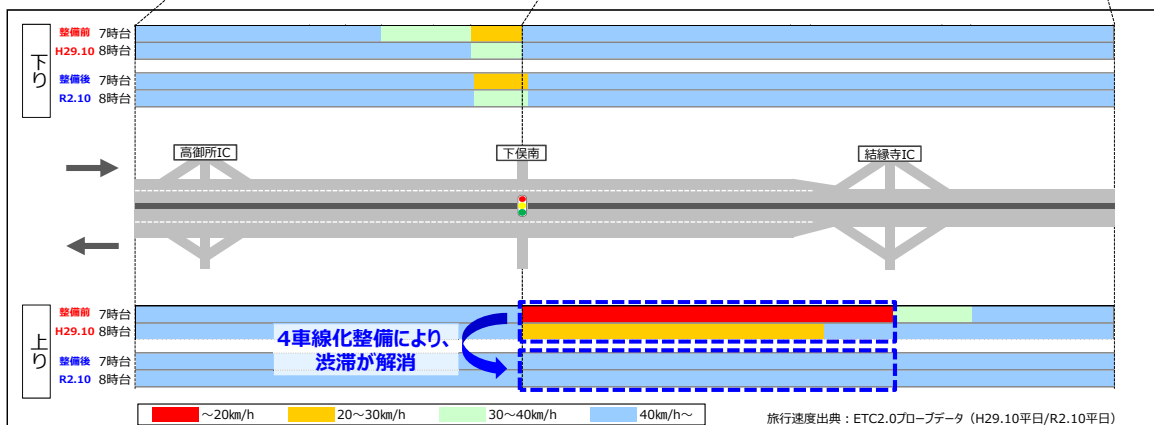
- 路線名称：県道 磐田掛川線
- 事業延長：約1.7km
- 着手年度：平成28年度
- 事業内容

暫定2車線区間の4車線化及び
交差点付近の右折車線の整備

○ 進捗状況

本工事は概ね完了、結縁寺IC以东との擦付けに関する調整等を残すのみ
下俣南交差点部は整備が完了しており、
課題となっていた渋滞は解消

■ 事業区間の旅行速度（朝ピーク時）



■ 整備後の下俣南交差点の状況

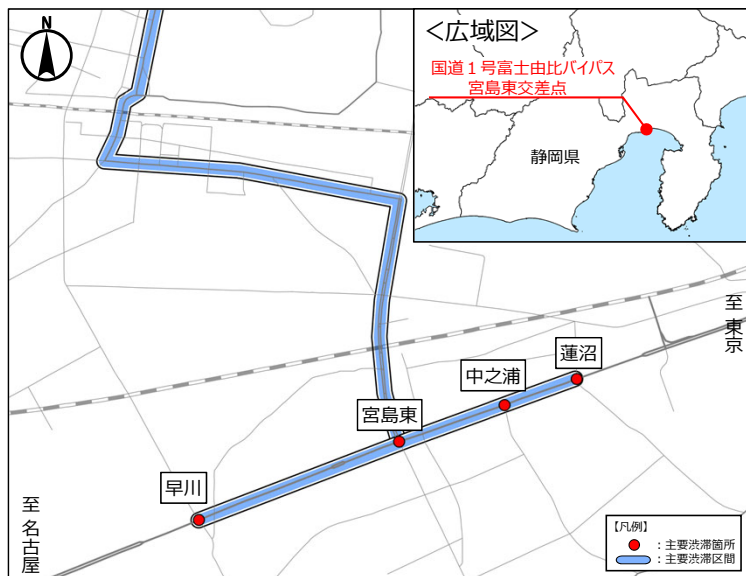


3. 国道1号富士由比バイパス宮島東交差点（実施主体：国） <令和3年2月26日完了>

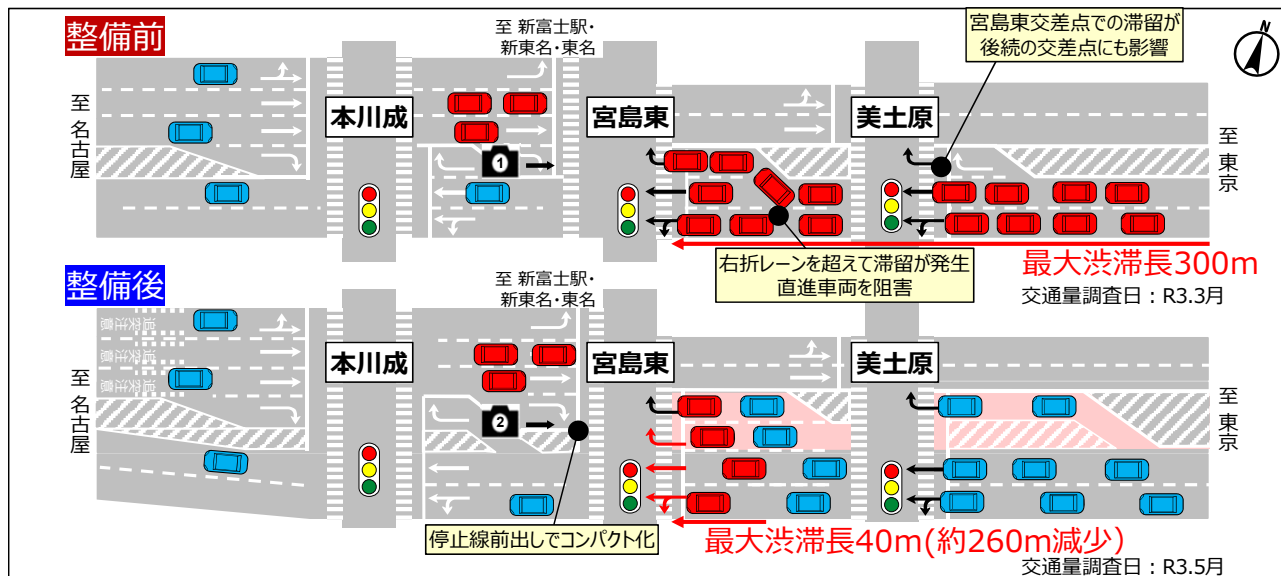
3-1 宮島東交差点 下り方向右折レーン2車線化

- 交差点改良前の宮島東交差点の下り方向（名古屋方面）においては、夕ピーク時に最大300mの渋滞が発生しており、当該交差点の滞留は隣接する美土原交差点へ影響。
- 令和3年2月26日に下り右折レーンの2車線化が完了。交差点改良により下り方向の夕ピークの渋滞長が約260m減少し、交通渋滞が大きく緩和。ただし、上り方向の渋滞は残存。ピーク時における旅行速度は依然低いままであり、抜本的な対策が必要。

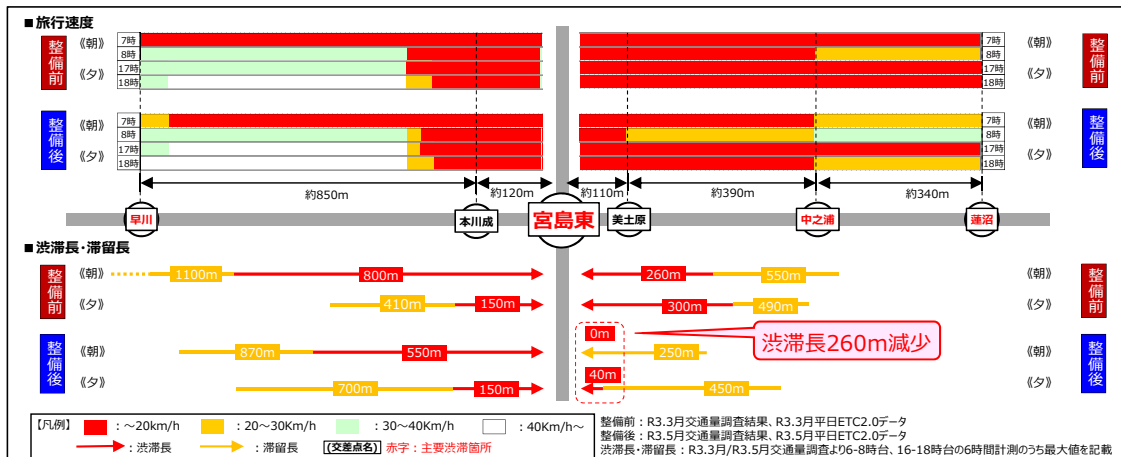
■位置図



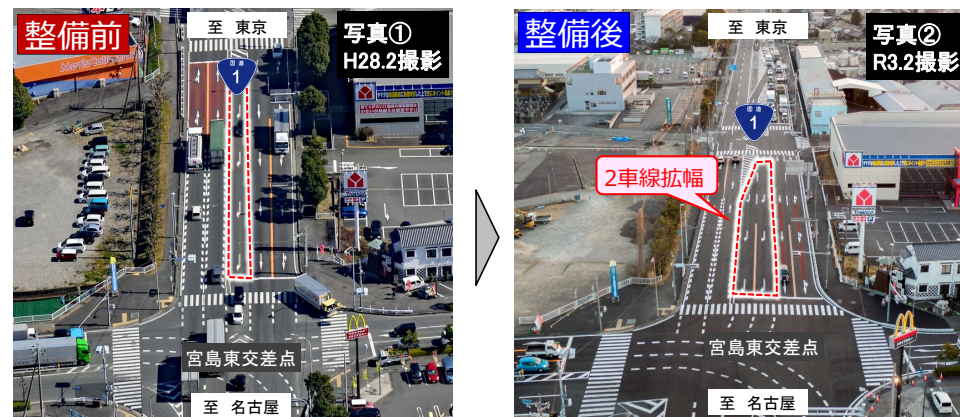
■対策概要



■整備効果



■現地状況



4. 結論(案)

4-1 結論(案)

- 国道1号掛川バイパスにおいては、旅行速度の向上を目的に、平成28年度よりSL看板を設置。上り線の7時台の旅行速度は整備前から横ばいであるが、上り線・下り線ともに速度の向上がみられる。現在も対策は継続中。
- 県道磐田掛川線の下俣南交差点においては、平成28年度より暫定2車線区間の4車線化整備及び交差点付近の右折車線の整備を開始し、工事は概ね完了したところ。交差点整備により、朝の渋滞は解消。
- 国道1号富士由比バイパス宮島東交差点においては、令和3年2月26日に下り方向右折レーン2車線化の整備が完了し、夕ピーク時における交通渋滞が大きく緩和したものの、上り方向の渋滞は残存。上り・下り方向ともピーク時における旅行速度は依然低いため、抜本的な対策が必要。